

「読書空間みかも」

地域共生のいえ憲章

関東大震災後の大正 13 年の建築です。

私はここで生まれ、育ち、生活してきました。

棟続きの 2 階には焼夷弾が一発命中し、火勢は強かったですが
消し止めることができ、焼け残りました。

終戦後、町会から「余裕住宅」の指示を受け、引揚者・戦災者・地方議員の
仮宿舎、また勉学で上京中の学生さんたちを紹介されるなど約 8 年、
その後は、弁護士さん、ピアニストの方などにお貸しして 50 年近く経ち、
読書空間みかもさんとは平成 18 年に出会いました。
みなさんそれぞれ大切に家を使ってくださったおかげで、
今も 80 年前の風情が残されています。

庭木も老いてきましたが、四季の変化を楽しむことができ、
地域のみなさんと
平和のもとに、次世代に残していきたいと願っています。

平成 22 年 4 月
読書空間みかも

オーナーの想いをうけて、
「読書空間みかも」が開設されて 4 年、
一步一步てさぐりですすんできました。
誰でも好きなだけいることができるこの場所のファンが増えています。
もっと地域の人々の
一日のほんのひととき
ほっとくつろげる居場所して
2010 年 4 月「地域共生のいえ」としてスタートします。

「地域共生のいえ」とは、オーナー自らの意思により、地域の公益的かつ非営利なまちづくり活動の場として、地域の絆を育み開放性のある活用がなされている私有の建物をいいます。

財団法人 世田谷トラストまちづくりは、平成 21 年度「地域共生のいえづくり支援事業」の対象として、読書空間みかも・黒井眞器さんを支援しました。

この憲章は、「読書空間みかも」の理念をわかりやすい形で伝えるために作成されたものです。この場が地域の皆さんに愛され、まちづくり活動の場として育っていくことを期待します。

